

地震と津波で壊滅的な被害を受けた、石巻市門脇・南浜・雲雀野地区の
「人とコミュニティの再生」を6年半にわたって撮影した
長篇ドキュメンタリー映画

まだ見ぬまちへ

石巻・小さなコミュニティの物語

震災前のこの地域にはどんな暮らしがあったのか。住民が語る“わがまち”の記憶。

製作：映画「まだ見ぬまちへ」の会／青池組

監督：青池憲司

早稲田まちづくり連続セミナー

「映像で見る復興」

第1回 宮城県石巻「復興とコミュニティ」

■第1部 (11:00-13:30) 映画上映「まだ見ぬまちへ」

■第2部 (13:45-14:45) トークセッション

ゲスト：青池憲司 (映画監督)

松村豪太 (一般社団法人ISHINOMAKI2.0 代表理事)

聞き手：真野洋介 (東京工業大学環境・社会理工学院 准教授)

開催日：2018年6月2日 (土) 11:00-14:45

会場：早稲田大学大隈小講堂 (新宿区戸塚町1-104)

資料代：1,000円 (一般) / 500円 (学生)

主催：早稲田都市計画フォーラム

共催：早稲田大学都市・地域研究所



被災直後から寄り合って暮らしはじめた人びとが、失われた地に 「新しいコミュニティ」をつくりだすプロセスを見つめる。



この映画は、地震と津波で壊滅的な被害を受けた、宮城県石巻市門脇・南浜・雲雀野地区の「人とコミュニティの再生」を6年半にわたって記録した作品です。

映画は人びとの、コミュニティづくりのプロセスを見つめます。居住環境が整わない地域の暮らしをどう生きるか？ 高齢者のケアは？ 新しい住民とのコミュニケーションは？ かたちが見えてきたまちへの期待と不安？

映画は、3月11日以前の地域の姿も見つめます。震災前のこのまちにはどんな暮らしがあったのか。住民が紡ぐ“わがまち”の記憶。

本作品は、一被災地の非常時のコミュニティ活動の記録であるとともに、そのテーマは、ふだんの地域社会づくりに通じる普遍性をもっています。

門脇町・南浜町・雲雀野町について

東日本大震災以前の3町は、住宅、商店、小学校、保育所、事業所、病院などが混在するエリアでした。世帯数1772、人口4423人。津波で356人が亡くなり、142人が行方不明です。家屋の大破をまぬがれたのは10世帯のみ。門脇町2丁目～5丁目は土地区画整理事業で「新門脇地区」になります。事業面積23.7ヘクタールの区域に250戸分の宅地が整備され、復興公営住宅151戸と合わせて401世帯、人口1070人が想定されています。南浜町と雲雀野町は居住不可地区となり「石巻南浜津波復興祈念公園」が造られます。地区の東西を走る八間道路は幅37.5m、高さ3.5mの高盛土道路になり、その北側が新門脇地区、南側が復興祈念公園です。



『まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～』

(上映時間2時間25分 Blu-ray/DVD)

製作：映画「まだ見ぬまちへ」の会／青池組
編集／構成＝村本勝 撮影＝一之瀬正史
整音／録音＝黄永昌 音楽＝原公一郎
撮影／録音＝山田武典 広報＝金原雅彦
語り＝黒田福美 監督／製作＝青池憲司

E-mail：kinoakcitta@gmail.com

公式サイト：http://aoikegumi.shinsaihatu.com/

Facebook：http://www.facebook.com/aoikegumi

製作協力：いしのまき 記録映画づくりを応援する会

公式サイト <https://www.ishinomakieiga-ouen.com/>